

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和6年3月29日

事業所名 こすもす

保護者等数(児童数) 18人 回収数 15人 割合 83%

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	15				
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	14	1			
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	8	3		4	もともと、建物自体がバリアフリーで建築されています。手すりは必要に応じて対応します
適切な支援の提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	15				子供が不登校になってしまい不安の中保、護者や子供学校と積極的に連携を取ってくださり信用、信頼できる施設で心強いげす。
	5	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	15				元々集団が苦手、家で過ごすことが好きな子ですが、それでも目的や友達と様々な角度から自分なりに楽しさを見出している
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	9			6	外出先での自然な交流が多くなっているのが大事にしています。
	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	15				
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	15				
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	13		1	1	必要に応じて、お便り帳や面談などを行っています
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	5	1	4	5	複数の放デイなどを利用している方が多く、現実的に難しさを感じています
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	14			1	日ごろから、職員間で話し合っています(苦情委員会の開催など)
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	15				
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	14			1	自己評価結果については毎年・月間予定表案毎月ホームページに掲載し、保護者宛には「こすもす便り」を毎月発行しています。

保護者への説明等	14	個人情報に十分注意しているか	14			1		規定の則って遵守しています
非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	11	2		2		マニュアルについては、契約時の説明では不十分だと思います。今後配布する予定
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	11	1		3		毎月実施し、避難訓練の様子を記録に残しています
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	14	1				毎回楽しみに通所しております。ありがとうございます。
	18	事業所の支援に満足しているか	15					子供の居場所になっています。丁寧に対応してくださっているのだと思っています。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○					保育園や幼稚園からの情報は得ていないが、相談支援事業所、保護者から確認している
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している						小学生が中心であり、サービス移行の実績は無いが、必要があれば実施する
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○					
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある				○		自然な交流を目指し、外出先を積極的に活用している
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○					児童クラブや児童館との設定した交流の機会はないが外出の際には地域の児童らとの自然な交流が出来る。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○					お便り帳、LINE、電話など、方法や時間を制限せず必要な連絡を行っている

	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○	○	あえて行っていないが 必要な相談や悩みには個別に丁寧に答えている	毎月発行している、お便りで当園の活動の説明や理念の理解と共有を図るためにお伝えしている。			
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○						
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		相談には個別に対応している				
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している			○		複数の事業所の利用や週1回だけの利用など家族の利用頻度や負担度合いが違い、就学前からの親の会などに所属していることも多く、あえて放課後で立ち上げることに賛同が得られにくい		
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○						
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			毎月「こすもす便り」を発行している			
	35	個人情報に十分注意している	○			職員・非常勤・ボランティアには説明し、誓約書を徴している			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○						
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○			ボランティア受け入れを宮崎市の市民活動センターに登録している			
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○						
39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			毎月一回実施している				
40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			毎年県が実施する研修に参加し、施設内研修として実施している				

非常時等の対応	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○				
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		アセスメントで聞き取りを行っている		
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		小さな事でも、毎日報告し、必要に応じて報告書を作成している		